### 高ビーム強度環境下でのゲルマニウム検出器の波形 読み出し回路の開発

#### 東北大学 大学院理学研究科 小池 武志

#### 共同研究者

東北大学: 佐々木昭雄, 杉原謙光, 山本康嵩, 市毛夏実, 田村裕和, 鵜養美冬, 山本剛史, Hyperball collaboration 原研: 細見健二

Argonne Natl. Lab. (ANL): M. Carpenter and P. Wilt 大阪大RCNP: CAGRA collaboration

内容



・まとめ





# Hyperball-J Ge 検出器アレイ





Weight : 18.5 kg

# ハイパー核γ線分光実験用Ge検出器



# Hyperball用Ge検出器と現行のアナログ回路

高いエネルギー付与率

- ▶トランジスタリセット型前置増 幅器
- ▶ 低い利得: 20mV/MeV
- > リセットのエネルギー閾値: 150MeV
- ≻ゲート積分型 Ultra High Rate Shap. Amp. (ORTEC 973U)







#### **Trough Put Ratio (TPR): T44 at K1.1BR**



ビームタイム: 6/26 -7/2, 2012 標的: <sup>10</sup>B14.2g/cm<sup>2</sup> ビームレート: 200kHz ~ 2MHz 2台の検出器 (Ge, PWO, LSO)



## テストパルスを用いたTPRの測定

#### 2種類のトリガー

Clock: 10kHz NIM signal BEAM: TOF1⊗ BPC (pre-scaled to 4kHz) TPR =

S(low,high)

# of test signal acpt. by DAQ







A. Sasaki, Master thesis (2013)



# Hyperball-Jのデジタル回路システム

デジタル化への2つのアプローチ



# **Digital Hyperball (DHB)**



# **GRETINA digitizer (LBNL)**

- 10 ch. (差動入力)
- 14 bit, 100 MHz
- ±1V dynamic range(線形 性領域)
- FPGA (Firmware)
  - 個別にパイプライン化されたメ モリバッファー
  - エネルギー (台形フィルター)
  - タイミング
    - Leading Edge
    - Constant Fraction Disc.
  - Pile-up 検知
  - 波形 (最大. 10μs)

- ▶ 次世代トラッキングGeアレイ GRETINA 用にLBNLが開発。
- ➢ Firmware は Gammasphere Geア レイ用に ANL が開発。(digital GS initiative)







試作インターフェース回路

#### 山本康嵩(修士2年)氏 修士研究





リセット回路







- 分解能の改善
   プリント基板で製作
- リセット信号の処理



- このシステムの磁気スペクトロメーターDAQ
  へのへの組み込み
  - タイムスタンプを用いてのイベントビルド
- Ge検出器以外のHBJ検出器のデジタル読み 出し(BGO,LSO)

まとめ

- J-PARCでのハイパー核 γ 線分光実験用のGe検出器の特徴・特異性
  - トランジスタリセット型
  - 低ゲイン
  - 冷凍機冷却
- 現行のアナログシステムのスループットを測定(J-PARC T44)
  - E13実験は現行のアナログ回路でも80%以上のスループット比
  - ビーム強度10MHzで<sup>~</sup>5%のスループット
- デジタル回路での読み出しで不感時間の短縮を目指す
  - ANLデジタル回路システムを採用
  - Geプリンアプ出力とデジタイザーを結ぶインターフェース回路を開発中